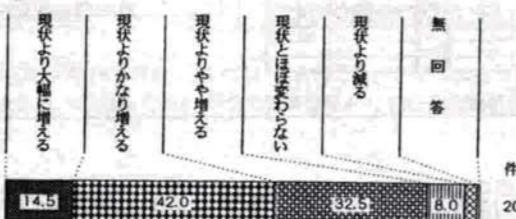


Q1. 4年制大学進学率

	合計	一回目調査					合計	二回目調査					
		現状よりかなり増える	現状よりやや増える	現状とほぼ変わらない	現状よりやや減る	現状よりかなり減る		現状より大幅に増える	現状よりかなり増える	現状よりやや増える	現状とほぼ変わらない	現状よりやや減る	現状より大幅に減る
合計	104 100.0	44 42.3	41 39.4	11 10.6	7 6.7	1 1.0	200 100.0	29 14.5	84 42.0	65 32.5	15 8.0	5 2.5	1 0.5
性別	男 100.0	96 44.8	43 38.5	37 9.4	9 5.3	6 1.0	184 100.0	26 14.1	78 42.4	60 32.6	14 7.6	5 2.7	1 0.5
年齢	女 100.0	6 12.5	1 50.0	4 25.0	2 12.5	1 -	16 100.0	3 18.8	6 37.5	5 31.3	2 12.5	2 -	1 -
	20才代 -	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- 50.0	- 50.0	- -	- -	- -	- -
	30才代 6 100.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 -	11 100.0	3 27.3	4 36.4	4 36.4	- -	- -	- -
	40才代 17 100.0	13 76.5	1 17.5	1 5.9	1 -	1 -	43 100.0	11 25.6	19 44.2	10 23.3	3 7.0	- -	- -
	50才代 14 100.0	4 28.6	9 64.3	1 7.1	1 -	1 -	37 100.0	8 21.6	14 37.8	10 27.0	5 13.5	- -	- -
	60才代 40 100.0	18 45.0	14 35.0	6 15.0	2 5.0	2 -	66 100.0	4 6.1	27 40.9	26 39.4	5 7.6	3 4.5	1 1.5
	70才代 23 100.0	5 21.7	12 52.2	2 8.7	4 17.4	2 -	37 100.0	2 5.4	17 45.9	14 37.8	2 5.4	2 5.4	2 -
	80才代 2 100.0	- -	1 50.0	- -	- -	1 -	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -
	90才代 1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	100.0 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

Q1. 2010年における「4年制大学進学率（浪人生含む）」はどれくらいの水準か？



第1回調査結果 現状よりかなり増える【42.3%】 現状よりやや増える【39.4%】
現状とほぼ変わらない【10.6%】 現状よりやや減る【6.7%】

「現状よりかなり増える」42.0%、「現状よりやや増える」32.5%、「現状より大幅に増える」14.5%と「増える」という認識に差はあるものの、全体の9割近くの人が現状よりも増える傾向にあると予測している。

<自由回答まとめ(1回目調査)>

Q1. 4年制大学進学率（浪人含む）の水準予測

Q1-A. 予測の理由・根拠

〔現状より増えると思う理由〕

- ・出生率の低下（少子化）により、大学進学が容易になるため。

- ・モラトリアム的傾向が増大するため。

- ・経済が豊かになり、教育への投資が増えるため。

- ・情報化社会への発展が高度化し、大学への進学が常態化するため。

- ・大都市以外の居住者の進学率が高まるため。

- ・社会に出るまでに習得しなければならない知識量が増大するため。

- ・大学の生き残り戦略により、入試の難度が低下するため。

- ・個性的な大学が増えるため。

- ・女子の大学進学が増えるため。

- ・失業回避の目的での大学進学が増えるため。

〔現状と変わらないと思う理由〕

- ・18歳人口は減少するが、生涯教育機関としての役割が高まるから。

- ・大学の知的水準を保つには、進学率は同世代人口の1/3程度が適当と思われるため。

〔現状より減ると思う理由〕

- ・大学に対する信頼、価値評価が下がるため。

- ・学歴が就職の際に効力を持たないと信じる高校生が増えるため。

- ・偏差値競争が相対的に低下するため。

Q1-B. その結果、何が最も変わるか

〔現状より増えた場合〕

- ・短大進学者の減少、4年制大学進学者の増大。

- ・大学の大衆化。高等教育水準の低下。

- ・大学中退者、フリーターの増加。

- ・学歴のブランド信仰が大学院にシフトする。

- ・女子の大学社会への進出が加速。

- ・人気大学と不人気大学の格差が拡大。

- ・成熟社会の安泰と、無気力の横行。

〔現状より減った場合〕

- ・教育の専門化、高度化の進展。

- ・就職に対する意識の変化。